



苗を手植えする速さなどを競う生徒

大農太田分校、田植え競技会 声かけ合い、正確に作業 学年対抗、3年生が優勝

大田市太田町の大曲農業高校太田分校（渡辺勉校長で、全校田植え競技会が行われた。生徒32人が参加し、学年対抗で手植えの速さと正確さを競った。今年で15回目。競技会は5月30日に開催。

同校敷地内にある実習用の田んぼ約12畝を三つに区切り、学年対抗で実施した。田んぼの端に横一列に並んだ生徒たちは、渡辺校長の合図と同時に田んぼに入り、一斉に作業を開始。あきたこまちの苗を3列に植えながら周囲と声をかけ合い、植え忘れたところがないかを確認して約19分を往復した。

優勝は、27分19秒で作業を終えた3年生。競技会の運営を担った農業委員会の高橋脩大委員長（3年）は「5年よりもスムーズに植えることができた。どの学年も協力して植えることができていたと思う」と話した。

生徒は6月下旬に除草作業を行う。苗は農業や化学肥料を使わない「特別栽培米」として育て、10月上旬に収穫する。（佐藤和輝）